

立皇嗣の礼関係行事等の式次第（案）

| | |
|-----------------------|----|
| 神宮神武天皇山陵昭和天皇山陵に勅使発遣の儀 | 2 |
| 神宮に奉幣の儀 | 3 |
| 神武天皇山陵に奉幣の儀 | 4 |
| 昭和天皇山陵に奉幣の儀 | 5 |
| 賢所皇霊殿神殿に親告の儀 | 6 |
| 賢所皇霊殿神殿に謁するの儀 | 8 |
| 皇嗣に壺切御剣親授 | 10 |

神宮神武天皇山陵昭和天皇山陵に勅使発遣の儀

1 1月5日午前10時、御殿を装飾する（正殿竹の間を用いる。）。
時刻、大礼委員が着床する。

次に勅使が着床される。

午前11時、天皇がお出ましになる。

侍従長が前行し、侍従が御剣を奉ずる。

次に幣物を御覧になる（掌典長が侍立する。）。

次に神宮に参向の勅使をお召しになる。

次に御祭文を勅使にお授けになる（侍従長が奉仕する。）。

次に勅使が退いて幣物の傍らに立たれる。

次に幣物を辛櫃に納める（掌典が奉仕する。）。

次に勅使が幣物を奉じて御殿を辞される。

次に神武天皇山陵及び昭和天皇山陵に参向の勅使を順にお召しになる。

次に御祭文を勅使にお授けになる（侍従長が奉仕する。）。

次に勅使が退いて幣物の傍らに立たれる。

次に幣物を辛櫃に納める（掌典が奉仕する。）。

次に勅使が幣物を奉じて御殿を辞される。

次に天皇が御退出になる。

前行及び随従は、お出ましのときと同じである。

次に各退出する。

○

服装 天皇：御直衣

勅使：衣冠単

侍従長，侍従：浄衣

掌典長及び掌典：祭服

辛櫃奉昇者：衣冠単

モーニングコート又はこれに相当するもの

お列

侍従長 天 皇 侍従（御剣）

神宮に奉幣の儀
皇大神宮
豊受大神宮

神宮の祭式による。

○

服装 勅使：衣冠単
勅使随員：衣冠単
出仕：雑色

神武天皇山陵に奉幣の儀

1 1月8日午前8時、陵所を装飾する。
午前10時、勅使が参進して着床される。
次に神饌を供する。

この間、楽を奏する。

次に掌典が祝詞を奏する。

次に幣物を供する。

次に勅使が拝礼の上、御祭文を奏される。

次に幣物及び神饌を撤する。

この間、楽を奏する。

次に各退出する。

○

服装 勅使：衣冠単

勅使随員：衣冠単

掌典：祭服

掌典補及び楽師：祭服

出仕：雑色

モーニングコート又はこれに相当するもの

昭和天皇山陵に奉幣の儀

1 1月8日午前8時，陵所を装飾する。
午前10時，勅使が参進して着床される。
次に神饌を供する。

この間，樂を奏する。

次に掌典が祝詞を奏する。

次に幣物を供する。

次に勅使が拝礼の上，御祭文を奏される。

次に幣物及び神饌を撤する。

この間，樂を奏する。

次に各退出する。

○

服装 勅使：衣冠単

勅使随員：衣冠単

掌典：祭服

掌典補，樂師：祭服

出仕：雑色

モーニングコート又はこれに相当するもの

賢所皇靈殿神殿に親告の儀

賢所の儀

1 1月8日午前8時，御殿を装飾する。

午前8時45分，大札委員が休所に参集する。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が賢所参集所に参集される。

次に天皇，皇后が綾綺殿にお入りになる。

次に天皇に御服を供する（侍従が奉仕する。）。

次に天皇に御手水を供する（侍従が奉仕する。）。

次に天皇に御笏を供する（侍従が奉仕する。）。

次に皇后に御服を供する（女官が奉仕する。）。

次に皇后に御手水を供する（女官が奉仕する。）。

次に皇后に御檜扇を供する（女官が奉仕する。）。

次に御扉を開く。

この間，神楽歌を奏する。

次に神饌及び幣物を供する。

この間，神楽歌を奏する。

次に掌典長が祝詞を奏する。

次に大札委員が着床する。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が参進して幄舎に着床される。

式部官が誘導する。

午前9時，天皇がお出ましになる。

掌典長が前行し，侍従が御剣を捧持し，侍従が随従する。

次に天皇が内陣の御座にお着きになる。

侍従が御剣を奉じて簀子に候する。

次に天皇が御拝礼になり，御告文をお奏しになる（御鈴を内掌典が奉仕する。）。

次に天皇が御退出になる。

前行及び随従は，お出ましのときと同じである。

次に皇后がお出ましになる。

掌典長が前行し，女官が随従する。

次に皇后が内陣の御座にお着きになる。

女官が簀子に候する。

次に皇后が御拝礼になる。

次に皇后が御退出になる。

前行及び随従は，お出ましのときと同じである。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が拝礼される。

次に大札委員が拝礼する。

次に幣物及び神饌を撤する。

この間、神楽歌を奏する。

次に御扉を閉じる。

この間、神楽歌を奏する。

次に各退出する。

○

服装 天皇：御束帯（黄櫨染御袍）

皇后：御小桂・御長袴

侍従：衣冠単

女官：桂袴

掌典長，掌典次長，掌典及び楽長：祭服

内掌典：衣袴，桂袴

掌典補及び楽師：祭服

出仕：麻浄衣

モーニングコート又はこれに相当するもの

お列

天皇のお列

掌典長 天 皇 侍従（裾） 侍従（御剣）

皇后のお列

掌典長 皇 后 女官（裾）
女官（裾）

皇霊殿の儀

神殿の儀

賢所の儀に倣う（御鈴の儀はない。）。

賢所皇霊殿神殿に謁するの儀

賢所の儀

1 1月8日午前11時35分，御殿を装飾する。

午後0時20分，大礼委員が休所に参集する。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が賢所参集所に参集される。

次に皇嗣，皇嗣妃が綾綺殿にお入りになる。

次に皇嗣に儀服を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

次に皇嗣に手水を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

次に皇嗣に笏を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

次に皇嗣妃に儀服を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

次に皇嗣妃に手水を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

次に皇嗣妃に檜扇を供する（皇嗣職宮務官が奉仕する。）。

時刻，御扉を開く。

この間，神楽歌を奏する。

次に神饌及び幣物を供する。

この間，神楽歌を奏する。

次に掌典長が祝詞を奏する。

次に大礼委員が着床する。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が参進して幄舎に着床される。

式部官が誘導する。

午後0時35分，皇嗣，皇嗣妃が参進される。

掌典長が前行し，皇嗣職宮務官が壺切御剣を奉じ，他の皇嗣職宮務官が随従する。

次に皇嗣，皇嗣妃が内陣の座に着かれる。

皇嗣職宮務官が壺切御剣を奉じて外陣に候し，他の皇嗣職宮務官が簀子に候する。

次に皇嗣，皇嗣妃が拝礼される。

次に皇嗣，皇嗣妃が退出される。

前行及び随従は，参進のときと同じである。

次に親王，親王妃，内親王及び女王が拝礼される。

次に大礼委員が拝礼する。

次に幣物及び神饌を撤する。

この間，神楽歌を奏する。

次に御扉を閉じる。

この間，神楽歌を奏する。

次に各退出する。

○

服装 皇嗣：束帯（黄丹袍）
皇嗣妃：小桂・長袴
皇嗣職宮務官：衣冠単，桂袴
掌典長，掌典次長，掌典及び楽長：祭服
内掌典：衣袴，桂袴
掌典補及び楽師：祭服
出仕：麻浄衣
モーニングコート又はこれに相当するもの

お列

| | | | |
|-----|-----|-----------|--------------|
| 掌典長 | 皇 嗣 | 皇嗣職宮務官（裾） | 皇嗣職宮務官（壺切御剣） |
| | 皇嗣妃 | 皇嗣職宮務官（裾） | 皇嗣職宮務官（裾） |

皇霊殿の儀

神殿の儀

賢所の儀に倣う。

皇嗣に壺切御剣親授

1 1月8日午前11時25分，天皇が鳳凰の間にお出ましになる。

侍従が前行し，侍従長，侍従が壺切御剣を奉持して随従する。
次に皇嗣が御前に参進される。

皇嗣職大夫が随従する。

次に侍従長が壺切御剣を御前に進める。

次に天皇のお言葉がある。

次に天皇が壺切御剣を皇嗣にお授けになる。

次に皇嗣が壺切御剣を皇嗣職大夫に渡される。

次に皇嗣が退出される。

皇嗣職大夫が壺切御剣を奉持して随従する。

次に天皇が御退出になる。

侍従が前行し，侍従長及び侍従が随従する。

○

服 装

天 皇：御束帯（黄櫨染御袍）

皇 嗣：束帯（黄丹袍）

侍従長，侍従，皇嗣職大夫，皇嗣職宮務官：衣冠単